



地域と共に歩むコミュニティ・スクール（商業科・情報処理科）



埼玉県立皆野高等学校



ホームページ

皆野高校 コミュニティ・スクール 学校運営協議会 小菅 恭青史 委員 よりご挨拶（皆野中学校長）



令和6年(2024年)甲辰(きのえたつ)年の幕開けです。干支(えと)は、正しくは十干十二支と言います。「甲乙丙丁戊己庚辛壬癸」の十干と「子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥」の十二支との最小公倍数により60の組合せがあります。それぞれ年月日時にあてられて、時間の変化を表します。60歳を還暦というのは、組合せの一巡からきたものです。私は1964年甲辰年生まれですので、これで一巡です。人生のターニングポイント(転換点)を迎えます。社会情勢が目まぐるしく変わる昨今、将来への不安も感じています。でも、一日一日を大事に丁寧に関ることが、楽しく穏やかに過ごせるコツのような気がします。不安や心配を想像するのではなく、今なすべきことを実践し、毎日を全力で生き抜きたいと考えます。

「広報みな」の1月号には、本校2年生の絵画が掲載されました。タイトルは【ありがとう皆野高校】です。統合される皆野高校へ感謝の気持ちを込めて、壁のタイル一枚一枚を丁寧に塗ったそうです。国神小学校地区で育った生徒です。その実践に感動しました。そして、そのコメントを目にした皆野高校の浅見校長先生が、喜びの電話をくださったことにも感激しました。

私は、新年を表す漢字として『始』を選びました。やさしく柔らかに耕し始めるという意味です。秩父高校と皆野高校の統合も「始」だと考えるようになりました。一抹の寂しさはありますが、皆野高校のこれまでの教育活動に敬意を表するとともに、皆野高校に関わるすべての方々を最後まで応援したいです。まだまだ盛り上げていきましょう。皆野高校！！

甲辰年が昇竜の如く、上昇する世の中になってほしいと切に願っています。

みんなの高校アイデア会議 みんなの高校会議 を実施

1・2・3年で学年ごとのアイデア会議、生徒のアイデアを教員が取り上げて具体案

「みんなの高校」の、「み」の上に付けた小さな「ん」は、 2^2 (2の2乗)、 3^2 (3の2乗)のように、「み」のn(ん=nn)乗を表します。皆野町にある高校の締めくくりとして、これまで以上に多くの方に皆野高校へ関わっていただき、その想いやパワーが2乗・3乗…と掛け算されることで、皆高にしかできないことをやろう！ という想いを込めています。「最後だから出来ない」ではなく「最後しかできない！」皆高エピソードづくりにチャレンジすることを目指します。

12月・1月と生徒のアイデア会議で出てきたアイデアは30。このアイデアを吸い上げる形で教員が分掌・学年・教科で出した具体案は20となりました。

この案を「みんなのLABO」を会場に「第1回みんなの高校会議」で本校職員24名と役場職員、区長や地域などの方16名、計40名でR6・7年度、地域と連携した内容の教育活動について意見交換を行いました。学校規模がさらに縮小していくなかで、地域の力を借りながら、生徒へ意識的に沢山の人や考え方に触れる機会を設定して、最後まで成長を支えていく教育活動に取り組みます。この会議を経てグッと前に進みそうなアイデアが沢山ありました。これから1つ1つ課題をクリアして、実現できるよう検討・行動をしていきます。引き続き、多くの地域の皆さま、卒業生の皆さまと一体となって取り組んでいきたいと考えております。



☆ 皆高トピックス ☆

期日前投票の立会人に従事

有権者となった生徒にとって2回目の選挙。2月4日町議会議員一般選挙の期日前投票に3年生が2月2日・3日に立会人として従事しました。



車いす体験教室

2月14日、社協主催の体験教室に生徒6名が参加。車いす乗車や補助体験により、地域の方と学びあい、福祉の理解と支え合いに取り組みました。



手話学習会

2月1日、3年生が町福祉課主催、ちちぶ広域聴覚障害者協会から聴覚障害を持つ講師より手話体験を通じ障害やバリアフリーについて学びました。



全国植樹祭の苗木植替

令和7年春ミューズパークで開催される「全国植樹祭」での苗木を2月14日農林振興センターのご指導の下1年生全員で植替作業に取り組みました。

